

2024年
新6年志望校別特訓説明会

四天王寺特訓

日能研関西

■ 学校概要

◆ アクセス ◆

学校法人四天王寺学園

四天王寺中学校 四天王寺高等学校

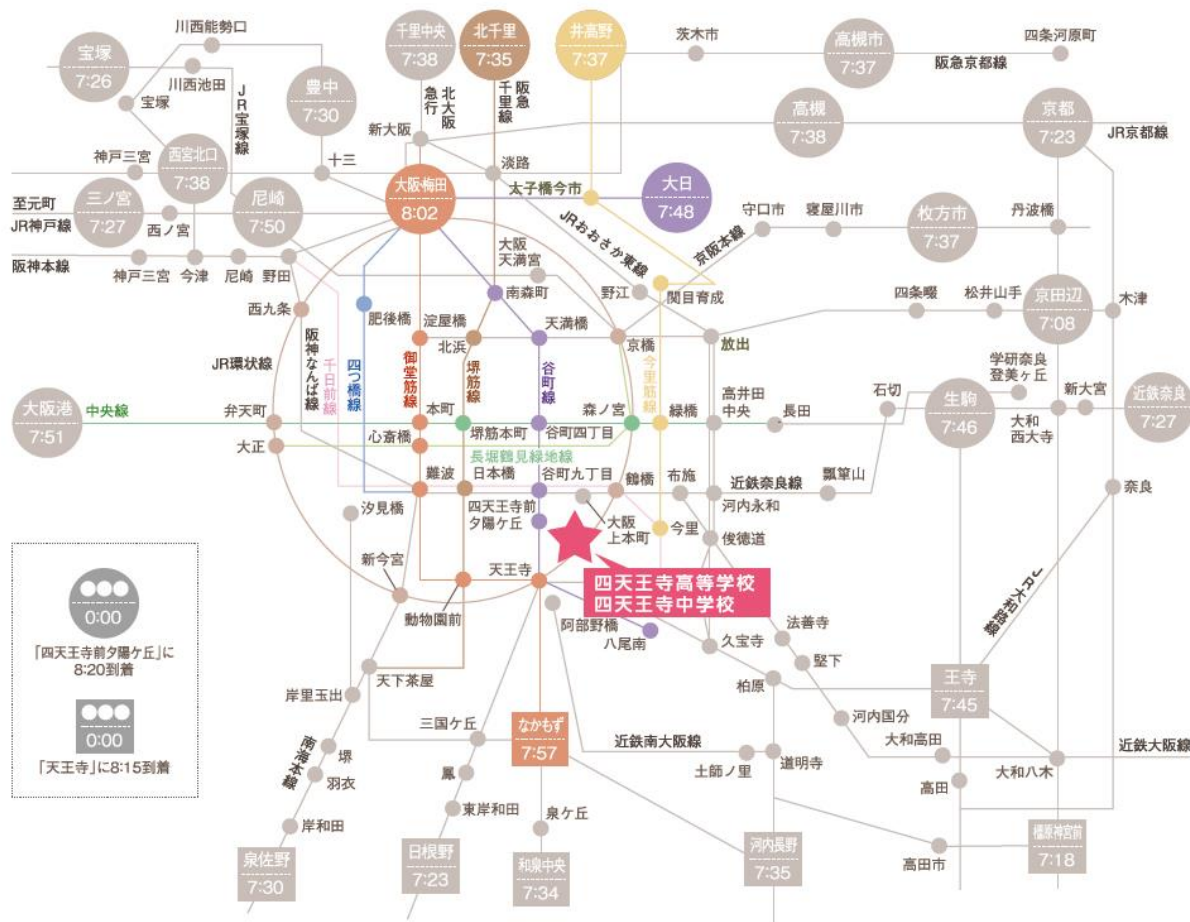
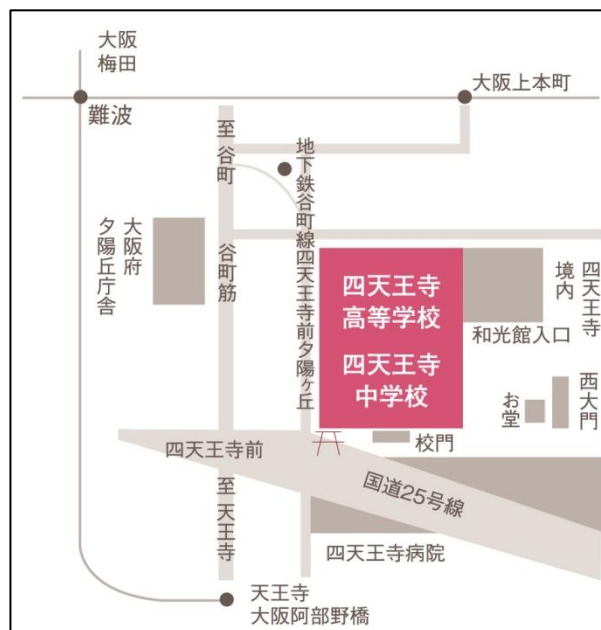
〒543-0051

大阪市天王寺区四天王寺1丁目11番73号

○JR 天王寺駅から北へ徒歩10分。

○地下鉄谷町線四天王寺前夕陽ヶ丘駅

4番出口から南へ徒歩5分。



◆ 教育方針 ◆

将来希望する世界で活躍できる学力を養成しています。

学ぶということは学校生活だけで終わる課題ではありません。社会で活躍する人とは、常に自分を高めるための努力を続けられる人に他なりません。しかし、その土台には新しい知識を理解し、吸収し、実践できる根源的な学力の養成が不可欠です。本校では長い歴史の中で女子に適した教育方法や生徒指導法などを進化、発展させながら作り上げてきました。徹底した教科指導、日々の反復学習による知識の習得、活用を学年に応じて行っています。さらに、女子校としての特長を最大限に生かした舞台発表やクラス対抗の学校行事などを通じて現代社会に必要なプレゼンテーション力や企画力、協調性を養いながら知識を柔軟に活用できる力を養成します。

円満で深い人間性を備えた女性を育みます。

大きく物事が変化する時には冷静で柔軟な思考力、そして、失敗に挫けない精神力が求められます。加えて他者を思いやれる優しさと包容力を兼ね備えた人間であって、はじめて多くの人に信頼され、新しい時代を切り開いていくリーダーになれると考えます。本校では毎朝の朝拝や仏教の授業、授戒会などの宗教行事を通して、社会から日々受けている多くの恩恵に感謝する心を忘れず、自分の為ではなく、他人の為に尽くすという「忘己利他」の精神を学びます。そして、社会において一人の自立した人間として、女性として誇りと責任を持って生きる豊かな人間性を育みます。

個性を充分伸長できる教育を行っています。

いくら豊富な知識と高い能力を備えていたとしてもそれが発揮されず、個々の中に留まっているだけではその価値を社会に還元することはできません。本校は聖徳太子様が説かれた「和のご精神」を礎に、人々の幸福や繁栄に寄与できる人間教育の学び舎であることが、開校以来目指してきたところでもあります。知識の習得と実践、学内外の様々な体験を通じて、高い志を持つ者同士が切磋琢磨しながら互いにその違いを認め、尊敬し合い、共に伸びていく嬉しさを知ること、強い信念に貫かれた、個性を輝かす人間に成長できると考えます。

◆ コース制度 ◆

英数Sコース

高い学力と豊かな人間性、主体性を身につけた国際人を志します。

〔最難関国公立大学文系・理系、海外大学進学〕

本コースでは、自分で考え、自分で行動できることを柱に、インプットだけでなくアウトプットにも力を入れ、好奇心、向上心旺盛な人物を育てていきます。

また、幅広い国際教養を身につけるために、国内外の多彩な英語体験型学習プログラムを充実させます。学習面では文系理系を問わず、今まで医志コースで培ったプログラムを、非医歯薬系大学学部を目指す生徒のために再編し、最難関大学進学を可能にする学力養成に力を注ぎます。

英数コース

6年間の全人教育を礎に社会の多様なリーダーを志します。

〔最難関国公立大学文系・理系進学〕

本コースでは、質・量ともに豊富な学習活動を通して、努力を積み上げながら達成感を味わえる「四天王寺（英数）スタイル」に、生徒が楽しく取り組める新しい教育プログラムを融合させます。

学習面では、苦手教科を作りにくい習熟度に応じた授業を実践し、生徒一人ひとりを手厚くサポートしながら、基礎から応用への理解を深めます。全人教育を目標に、最難関大学の文系・理系進学にとどまらない、社会で活躍できるリーダーを育てます。

医志コース

強い使命感、高い倫理観を備えた医療者を志します。

〔医歯薬系進学〕

本コースでは、志の基盤として、仏教教育や知的・教養的でアクティブな講座を充実させ、新しい教育観を踏まえた主体的学びを実践させます。

さらに重要な基盤として、国内外の最難関医歯薬系大学・学部の入試を突破し、大学進学後も厳しく真摯に学び続ける能力を高めることを目指しています。時代が変わっても、知識を十分に蓄え、知性を磨くことが真の教育であると確信し、高いレベルの「学びの質と量」を確保しながら、生徒たちに日々努力を続けさせます。



SHITENNOJI JUNIOR HIGH SCHOOL

生徒募集要項

四天王寺中学校

令和
7
年度

● 募集人員[約270名(女子)]

英数Sコース／約40名 英数コース／約170名 医志コース／約40名 文化・スポーツコース／約20名

※出願は「英数Sコース」・「英数コース」・「医志コース」・「文化・スポーツコース」への出願となります。出願後のコース変更は一切認めません。

※英数Sコース受験生は、その合格点に達していなくても、英数コースの合格点に達していれば、英数コースへの変更合格とします。

※英数コース出願者のみ「専願・併願」の募集を行います。

英数コース専願受験生は、専願ラインを設定して判定いたします。なお、専願者は入学試験に合格すれば本校へ入学することを約束した者です。

※医志コース受験生は、その合格点に達していなくても、英数コースの合格点に達していれば、英数コースへの変更合格とします。

※文化・スポーツコース志願者は、アスリートやアーティストへの道を究めようとする児童を対象とします。

● 出願資格

令和7年3月に小学校卒業見込みの者

● 出願手続(インターネット出願)

本校ホームページから「インターネット出願」にアクセスして出願してください。

(1) 出願期間 令和6年11月 9日(土) 9:00から

令和7年 1月15日(水) 21:00まで

● 検定手数料

20,000円 クレジットカード・コンビニエンスストア・ペイジー対応のATM等をご利用ください。

※一旦納入された検定手数料は、いかなる理由があっても返却いたしません。

●選考期日・選考方法

令和7年1月18日(土) 8:30集合(8:00開門)

《英数Sコース、英数コース、医志コース共通》

※4教科型か3教科型の選択制です。入試問題は共通とします。出願後のコース変更、教科型の変更は一切認めません。

【A】4教科型受験者					
時 間	9:00～10:00	10:15～10:55	11:10～12:10	昼 食	13:10～13:50
教 科	国 語	理 科	算 数		社 会
配 点	120点	80点	120点		80点

《英数Sコース、英数コース(専願・併願 共通)出願》

- (1) 受験者の得点を次の(ア)～(ウ)の方法で計算します。
 - (ア) 4教科(国語・算数・理科・社会)の合計得点を出します。(400点満点)
 - (イ) 国語・算数・理科の合計点を1.25倍して得点を出します。(400点満点換算)
 - (ウ) 国語・算数・社会の合計点を1.25倍して得点を出します。(400点満点換算)
- (2) 受験生の(ア)～(ウ)の得点を比較して、高得点の方をその受験生の得点とします。

《医志コース 出願》

- (1) 受験者の得点を次の(ア)(イ)の方法で計算します。
 - (ア) 4教科(国語・算数・理科・社会)の合計得点を出します。(400点満点)
 - (イ) 国語・算数・理科の合計点を1.25倍して得点を出します。(400点満点換算)
- (2) 受験生の(ア)(イ)の得点を比較して、高得点の方をその受験生の得点とします。

【B】3教科型受験者			
時 間	9:00～10:00	10:15～10:55	11:10～12:10
教 科	国 語	理 科	算 数
配 点	120点	80点	120点

《英数Sコース、英数コース(専願・併願 共通)、医志コース 出願》

国語・算数・理科の合計点を1.25倍して得点を出します。(400点満点換算)

判定方法：【A】(2)、【B】で確定した受験生の得点(400点満点)で合否を判定します。

- ◆持参するもの ①入学志願書 ②受験票 ③筆記用具、定規(直線、三角)、コンパス
④昼食(4教科型受験者のみ)※食堂は利用できません。
- ◆使用禁止のもの 携帯電話等通信機器、計算機能・翻訳機能をもつ器具類、下じき、分度器
※面接は行いません。

《文化・スポーツコース》

※国語・作文・面接(受験者と保護者)を行います。

※文化・スポーツコース受験者は、他のコースへの変更はありません。

時 間	9:00～10:00	10:15～10:55	11:10～13:00
教 科	国 語	作 文	面 接
配 点	120点	80点	

- ◆持参するもの ①入学志願書 ②受験票 ③筆記用具
- ◆使用禁止のもの 携帯電話等通信機器、計算機能・翻訳機能をもつ器具類、下じき

● **合格発表** (本校掲示による発表・Webによる発表)

掲示発表	令和7年1月20日(月)9:00から12:00まで。本校にて掲示発表いたします。
Web発表	令和7年1月20日(月)12:00から令和7年1月24日(金)15:00まで。 本校ホームページよりアクセスしてください。Webによる発表をいたします。

※合格結果に関するお問い合わせにはお答え出来ません。

● **入学金納入** (現金納入・Webによる決済)・**入学手続き** (来校による手続き)

◆ **令和7年1月20日(月)に入学手続きを行う者**

令和7年 1月20日(月) 9:00～17:00	掲示発表確認後、入学手続きを行います。 制服採寸等に関する書類、その他の資料を配付いたします。
	入学時納付金は <u>現金による納入のみ</u> となります。

※令和7年1月20日(月)に入学手続きを行う者は、受験票と入学時納付金を必ずご持参ください。入学時納付金は現金による納入のみとなります。

※合格発表 Webサイトより、手続書類を必ずダウンロードしてください。また、必要に応じてプリントアウトしてください。

◆ **令和7年1月23日(木)及び24日(金)に入学手続きを行う者**

令和7年1月21日(火) 9:00から 令和7年1月24日(金) 15:00まで	合格発表 Webサイトより、入学金を納入してください。 <u>Webによる納入のみ</u> となります。
令和7年1月23日(木) 令和7年1月24日(金) いずれも9:00～16:00	入学手続きを行います。 制服採寸等に関する書類、その他の資料を配付いたします。

※合格発表Webサイトより、手続書類を必ずダウンロードしてください。
また、必要に応じてプリントアウトしてください。

※上記日程・時間内にご来校頂き、入学手続きをしてください。所定の手続きをされない場合は入学資格を取り消します。入学金の納入は、入学手続きまでに完了してください。

※入学金の納入は、クレジットカードまたはコンビニエンスストア、ペイジー対応金融機関ATMから納入して頂きます。なお、別途手数料が発生します。

■ 中学入試データ

令和 6年度	受験者数 664(678) ()内は、志願者数		医志 英数S 英数(併) 英数(専) 文化・スポーツ 153(155) 121(122) 9 (11) 361(370) 20(20)			
	コース	合格最低点	医志コース	英数Sコース	英数コース	文化・スポーツ
	医 志	301 / 400	83人			
	英 数S	298 / 400		60人		
	英 数 (併)	265 / 400	変更合格49人	変更合格44人	3人	
英 数 (専)	249 / 400			200人		
文化・スポーツ	275/400 (棄権点等を含む)				20人	

教科	国語 (120)	社会 (80)	算数 (120)	理科 (80)	計
受験者平均点	81	56	80	44	(269) / 400
合格者平均点	86	59	91	49	(293) / 400
合格者最高点	107	77	120	80	(377) / 400

令和 5年度	受験者数 678(707) ()内は、志願者数		医志 英数S 英数(併) 英数(専) 文化・スポーツ 147(155) 110(120) 13(15) 392(401) 16(16)			
	コース	合格最低点	医志コース	英数Sコース	英数コース	文化・スポーツ
	医 志	293 / 400	82人			
	英 数S	289 / 400		61人		
	英 数 (併)	258 / 400	変更合格41人	変更合格33人	6人	
英 数 (専)	239 / 400			208人		
文化・スポーツ	262/400 (棄権点等を含む)				16人	

教科	国語 (120)	社会 (80)	算数 (120)	理科 (80)	計
受験者平均点	71	62	77	48	(261) / 400
合格者平均点	79	65	87	51	(286) / 400
合格者最高点	115	78	120	73	(382) / 400

令和 4年度	受験者数 672(696) ()内は、志願者数		医志 199(207) 英数S 118(124) 英数(併) 21(22) 英数(専) 318(327) 文化・スポーツ 16(16)			
	コース	合格最低点	医志コース	英数Sコース	英数コース	文化・スポーツ
	医 志	277 / 400	90人			
	英 数S	265 / 400		54人		
	英 数 (併)	239 / 400	変更合格75人	変更合格29人	5人	
英 数 (専)	221 / 400			155人		
文化・スポーツ	268/400 (棄権点等を含む)				16人	

教科	国語 (120)	社会 (80)	算数 (120)	理科 (80)	計
受験者平均点	70	55	65	49	(240) / 400
合格者平均点	77	58	75	54	(266) / 400
合格者最高点	108	78	113	78	(350) / 400

	2022年	2023年	2024年	分析と対策
国語	①論説文 〔漢字の書き取り、脱文挿入、具体化の記述、ぬき出し、選択肢〕 ②物語文 〔選択肢、ぬき出し、具体化の記述、空欄補充、表現の工夫〕 ③随筆 〔漢字の書き取り、ぬき出し、ことわざ、空欄補充、具体化の記述〕	①論説文 〔ぬき出し、具体化の記述、空欄補充、選択肢〕 ②物語文 〔漢字の書き取り、選択肢、表現技法、具体化の記述、ぬき出し〕 ③論説文 〔漢字の書き取り、慣用表現、ぬき出し、選択肢〕	①論説文 〔漢字の書き取り、ぬき出し、慣用表現、理由の記述、選択肢、空欄補充〕 ②物語文 〔漢字の書き取り、選択肢、ぬき出し、空欄補充、心情の記述〕 ③論説文 〔空欄補充、ぬき出し、選択肢、具体化の記述〕	例年同様、文章題3題の構成である。また出題形式も、例年同様漢字の書き取り問題・選択問題・ぬき出し問題・記述問題が出題されている。記述問題で得点するために、短くまとめる課題に対応できるように要点をしばって解答を作る練習や、必要な内容を不足なく説明する訓練が重要である。ぬき出し問題では、傍線部に対する理由や具体化部分を文章中から見つけられるように、つながりを意識した読解が必要だといえる。
算数	①四則計算、逆算 ②つるかめ算、数の性質 ③平面図形（角度、面積） ④場合の数 ⑤規則性（メダルの交換） ⑥立体図形（体積、表面積） ⑦速さ（円周上の点の移動、角速度）	①逆算、四則計算 ②推理と論理、規則性 ③平面図形（相似、面積と比） ④場合の数（投票） ⑤規則性（群数列） ⑥速さ（図形上の点の移動） ⑦立体図形（回転体、切断と求積）	①四則計算、逆算 ②ニュートン算 ③数の性質（約束記号） ④平面図形（面積と比、相似） ⑤速さ（比の利用） ⑥規則性（日暦算） ⑦立体図形（円すいの移動と求積）	昨年同様、①が計算、②以降の大問が6題という構成。大問は極端な難問はないが、後半に調べ上げ・書き出しが必要な手問のかかる問題が多いので、時間配分がポイントとなる。各問前半の標準的な問題をミスなくしっかりと得点した上で、合否を決める後半の難問でもできるだけ得点したい。 解答のみ要求されるが、問題文をしっかりと読み取り、規則を理解した上で、図や表にまとめていく作業が必要となるので、充分に訓練しておきたい。
理科	①プラスチックの密度と二酸化炭素の発生 ②天体の動きと月の満ち欠け ③動物の行動（鳥とタヌ） ④物体の運動と衝突	①昆虫・鳥の生態 ②化学変化の原理・酸素の発生 ③光の性質と色 ④太陽の動き・星の明るさと色	①人体のつくり、ヒトとカエルの血液循環 ②二酸化炭素の発生 ③湿度 ④ばねと浮力	制限時間40分。生物・化学・物理・地学各1題の計4題。総問題数は39問。基本的な知識問題や、与えられた条件を基に筋道立てて考える力が必要な計算問題、実験や観察についての読み取り、記述させる問題など、出題される内容が多岐にわたっている。また、問題文が長い傾向にある。 基本的な知識と計算問題の解法は習得しておく必要がある。大問1つの中に複数のテーマがあるので柔軟な対応力を養っておくこと。記述は少ないが、グラフや図を描くことを要求されることが多いので対策しておきたい。普段から正解に至る道筋を意識しながら学習に臨むこと。
社会	①地理（工業に関する問題） ②歴史（関東・近畿・九州の歴史） ③歴史（外交史） ④時事問題	①地理（都道府県の特徴） ②歴史（歴史的建造物） ③歴史（各時代の様子を描いた絵、歴史地図） ④時事問題	①地理（日本と世界の国々、統計） ②歴史（各時代の様子を描いた絵、写真、史料） ③歴史（明治～大正時代の歴史） ④時事問題	時事問題を除いて、基本問題から応用問題まで幅広く出題される。歴史分野の出題数が多い。短文記述形式の問題が1～2問ある。育成テストなどを通じて短文記述に慣れておくことが必要である。正誤の組み合わせを答えさせる問題もあり、選択肢を1つずつ丁寧に読むことが求められる。最後に大問で1題、時事問題が出題される。普段から新聞やニュースなどを通じて日本や世界の出来事に興味を持つておくことが重要である。11月以降発刊の「重大ニュース」などのテキストで対策をしておくことが必須である。

■ 特訓概要

◆ 開催校 ◆

上本町校、千里中央校

◆ 受講基準 ◆

「公開模試」の4科目平均偏差が46以上、または3科目平均偏差が48以上
または、「思考力育成テスト」の3科目平均順位が430位以内

◆ 指導教科 ◆

前期特訓：算数が毎週実施、国語・理科が隔週実施

(例) 1週目：算数・国語 2週目：算数・理科

後期特訓：国語・算数が毎週実施、理科・社会が隔週実施

(例) 1週目：国語・算数・理科 2週目：国語・算数・社会

◆ 一週間のモデルスケジュール ◆

火曜日	木曜日	土曜日	日曜日
国語	理科	算数 社会	学習力育成テスト※・公開模試 四天王寺特訓

※ 前期は学習力育成テスト、後期は合格力育成（実践）テスト

(本科クラス) 国語 150 分・算数 200 分・理科 150 分・社会 100 分

(本科発展クラス) 国語 200 分・算数 250 分・理科 150 分・社会 100 分

◆ 授業時間 ◆

千里中央校

－ 前期 －		－ 後期 －	
09:00～12:20	学習力育成テスト 公開模試	09:00～12:20	合格力育成テスト・合格力実践テスト 公開模試
12:20～12:45	食事休憩	12:20～12:45	食事休憩
12:45～14:25	授業① (100 分)	12:45～14:25	授業① (100 分)
14:35～16:15	授業② (100 分)	14:35～16:15	授業② (100 分)
		16:25～18:05	授業③ (100 分)

※ 学習力育成テストや公開模試等のテストは特訓開催校で受験します。

※ 次年度の特訓時間割は変更になる場合があります。

上本町校

－ 前期 －		－ 後期 －	
13:00～16:20	学習力育成テスト 公開模試	09:00～12:20	合格力育成テスト・合格力実践テスト 公開模試
16:20～16:30	休憩	12:20～12:45	食事休憩
16:30～18:10	授業①（100分）	12:45～14:25	授業①（100分）
18:10～18:25	食事休憩	14:35～16:15	授業②（100分）
18:25～20:05	授業②（100分）	16:25～18:05	授業③（100分）

※ 学習力育成テストや公開模試等のテストは特訓開催校で受験します。

※ 次年度の特訓時間割は変更になる場合があります。

◆ 特訓保護者会 ◆

年3回実施（第1回は4月ごろ、第2回は7月ごろ、第3回は10月ごろに実施）

第1回保護者会…特訓担当者紹介、特訓指導方針、前期指導内容など。

第2回保護者会…夏期特訓、後期特訓指導方針など。

第3回保護者会…後期指導内容、入試説明、併願校の紹介など。

◆ 特訓イベント ◆

学校見学会等

◆ 特訓カリキュラム（前期） ◆

	回数	国語	算数（奇数週）	算数（偶数週）	理科
前期 （2月～7月）	1	物語文①	重要単元演習① 【速さ】		
	2			立体図形Ⅰ	特別回① 力学総合
	3	物語文②	重要単元演習② 【立体図形】		
	4			数論Ⅰ	特別回② 化学総合
	5	物語文③	重要単元演習③ 【場合の数】		
	6			数論Ⅱ	第1回 植物① 第2回 植物②
	7	物語文④	重要単元演習④ 【比と文章題＋本科補充】		
	8			場合の数	第3回 動物 第4回 人体①
	9	随筆文①	重要単元演習⑤ 【比と文章題＋本科補充】		
	10			割合と比Ⅰ	第5回 人体② 第6回 地表面の変化
	11	随筆文②	重要単元演習⑥ 【平面図形と比＋本科補充】		
	12			割合と比Ⅱ	第7回 天体① 第8回 天体②
	13	説明文・論説文①	重要単元演習⑦ 【平面図形と比＋本科補充】		
	14			平面図形Ⅰ	第9回 天体③ 第10回 気象
	15	説明文・論説文②	重要単元演習⑧ 【速さとグラフ（点の移動） ＋本科補充】		
	16			平面図形Ⅱ	第11回 気体 第12回 水溶液①
	17	説明文・論説文③	重要単元演習⑨ 【速さとグラフ（点の移動） ＋本科補充】		
	18			速さ	第13回 水溶液② 第14回 燃焼 第15回 熱
	19	説明文・論説文④	重要単元演習⑩ 【立体図形と水槽グラフ ＋本科補充】		
	20			立体図形Ⅱ	第16回 音 第17回 光

◆ 特訓カリキュラム（後期） ◆

	回数	国語	算数	理科	社会
夏期	1	入試問題研究	立体図形 実践編	単元別問題演習① 生物カードチェックテスト①	入試問題研究① 社まとテスト① 時事問題プリント
	2	入試問題研究	入試問題研究 過去問ガイダンス	単元別問題演習② 生物カードチェックテスト②	入試問題研究② 社まとテスト② 政治分野プリント
	3	入試問題研究	入試問題研究	単元別問題演習③ 生物カードチェックテスト③	入試問題研究③ 社まとテスト③ 歴史分野プリント
後期 （9月～1月）	1	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究 理科演習プリント	
	2	記述対策①	入試問題研究		入試問題研究
	3	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究 理科演習プリント	
	4	入試問題研究	入試問題研究		入試問題研究
	5	記述対策②	入試問題研究	入試問題研究 理科演習プリント	
	6	入試問題研究	入試問題研究		入試問題研究
	7	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究 理科演習プリント	
	8	入試問題研究	入試問題研究		入試問題研究
	9	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究 理科演習プリント	
	10	入試問題研究	入試問題研究		入試問題研究
	11	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究 理科演習プリント	
	12	入試問題研究	入試問題研究		入試問題研究
	13	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究 理科演習プリント	
	14	入試問題研究	入試問題研究		入試問題研究
	15	入試問題研究	入試問題研究	入試問題研究 理科演習プリント	
	16	入試問題研究	入試問題研究		入試問題研究

■ 国語の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

四天王寺中学校入試問題では、現代社会の問題にかかわる文章を出題する傾向があります。小学生の話し言葉にはない少し古い文章語や、抽象的な概念を表すことばを用いた文章に慣れることが必要です。そのために小学生でも読める評論（例えば岩波ジュニア・ちくまプリマー・ブルーボックスなどの新書）、文学的な小説などを意識して読んでください。長編も出題されますので、慣れることで早く読めるようになります。また、新聞記事を読むことで、現代社会の問題にも興味を持ってください。語彙が豊かになるだけではなく知識も増え、大人の文章に親しむことができます。

正しく解くためには、小説、評論のジャンルにかかわらず、問題文はもちろん、問の読み取りは大切で、語彙の有無は大きく作用します。求められていることを限られた時間内に答えることを意識し、時間をはかって解答する練習をしてください。傍線部周辺を参考にして、とりあえず解答を作成していくのではなく、文章を確実に理解しキーワード、キーセンテンスを用いて記述問題に取り組み、練習することで書く力が身につけてきます。

四天王寺中の入試問題は、文章三題構成で、漢字・記号・抜き出し・記述とオーソドックスな設問になっています。ただ、文章を60分で三題ということで、解くスピードや要領が必要となってきます。特訓授業ではこの出題傾向を前提として、まずは文章を読み取る力を養い、さらに三題を解き切るだけの力をつけていってもらえるようカリキュラムを考えております。

◆ 前期特訓の内容 ◆

前期の特訓授業では、入試に出題されるであろうと予想される分野、物語文・随筆文・説明文・論説文を扱い、文章の基本的な読み方や、問題の解き方を演習形式で行い、入試問題を読み解くための力を養っていきます。

◆ 後期特訓の内容 ◆

後期の特訓授業では、四天王寺中の過去問を使って入試問題研究を行っていきます。これまでの単元別の学習内容を生かしつつ、文章三題構成の出題形式に慣れていくとともに、時間配分や問題を解く順序などこれまでよりも実戦的な力を養っていきます。また、入試問題研究だけではなく、苦手な方の多い記述問題の対策も行い、入試までに、どのような問題であっても対応していけるだけの力をつけていってもらいます。

■ 算数の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

計算力はすべての問題の基本であるから、早く正確にできるようによく練習しておこう。また、計算の工夫が自然にできるように、ふだんから心掛けて取り組んでおきたい。合格点を取るために、計算問題は、式をながめて特徴をつかんでから、落ち着いて計算し全問正解しよう。

また、小問や、大問の①②は基礎的な問題が多いので、日頃から数多く基礎を練習し、迅速かつ確実に正解できるようにしておこう。

例年、大問の文章題は、型にはまった問題が少なく、公式や解法の丸暗記では解くことができない。問題文をしっかりと読んで内容を十分に把握した上で、図を描いたり、書き並べてみたり、表・グラフ・ダイアグラムを作って利用するなど、その場で解法の糸口を見出せるようふだんから思考力・試行力を養っておきたい。

平面図形の問題は、図形を並べ替えて面積を読み取ったり、裏返したり、折り返したり、対称性を利用したりといった特徴を活用できる目を養っておこう。

立体図形については、立体を積んだり傾けたり切ったりして、頭の中で立体が考えられるようにしたいものだ。必要な断面や展開図も描けるようにしておこう。

本校の過去の問題を見ればわかるように、決して難問・奇問（特に、小学校の学習指導要領の内容を超える分野）を練習する必要はない。標準レベルの問題を自分で十分に理解、納得して解くという勉強の姿勢が大切である。

◆ 前期特訓の内容 ◆

前期の特訓授業では、本科のカリキュラムに沿った形で、四天王寺に頻出の重要テーマを基礎編で知識を確認し、実戦編でそれがどのような形で入試に出ているかを学習するという2回1セット授業で重要問題を解く力をつけていきます。この段階で入試前半部分の小問や典型的問題の得点力が養成されます。

◆ 後期特訓の内容 ◆

夏期以降の特訓では実際の入試問題を使用し、時間配分や問題の分析法、図表やグラフ、さらには書き並べて規則性の糸口を見つけるなど本学独特の問題の解法を徹底して練習していきます。主に後半部分の対策が特訓授業の中心となります。後半部分の問題は一見型にはまった問題は少ないように見えますが、過去問を子細に検討すると既出類題があることが多いことから、近時の過去問はもとよりかなり古い過去問まで扱います。また、四天王寺マスターテキストで夏期までの既習知識の再確認も行うことで、合格に万全を期します。

■ 理科の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

理科という教科には、大きく4つの分野が含まれています。すなわち、物理、化学、生物、地学の4分野があり、例年ほぼ均等に出題されています。ですから、理科の勉強を進めていくときには、できるだけ偏ることなく4分野まんべんなく勉強してください。

次に理科の対策を列挙しておきますので、しっかり準備してください。

1. 理科で学ぶ重要な「用語」、「単位」などを正確に理解し、特に用語は正確な漢字で書けるようにしてください。
2. 記述題では、理科の用語を的確に用いるとともに、ポイントをつかんだわかりやすい表現が出来るように心がけてください。特に主語が欠落しないなど、普段から書くことに慣れ、文章力を身に付けておいてください。
3. 教科書で扱われている実験については、実験操作の意味もしっかり理解し、学校の授業において積極的に実験に参加してください。
4. データの処理に関し、グラフの作成や読み取りに慣れ、ある程度のグラフは書けるようにするとともに、計算力をつける学習を大切にしてください。
5. 生活の中で体験する身近な現象などに、日頃から関心をもつよう心がけ、なぜそのような現象が起こるかを自分の言葉で表現できるようにしてください。
6. 過去の問題を解いて「問題形式」や「解答方法」などに慣れるとともに、時間を計って解答し、問題文をしっかり読み取るトレーニングをしてください。

◆ 前期特訓の内容 ◆

本科授業の後追いをしながら単元別の問題演習に取り組み、基本の定着を目指します。

◆ 後期特訓の内容 ◆

過去問演習に取り組みます。入試本番では落としてはいけない問題から基本的な事柄を確認していくとともに、思考力や作業等を必要とする問題の対処法などを学習していきます。

■ 社会の指導内容

◆ 入試の出題傾向 ◆

【地理分野】

地名、地理用語、都道府県別の産業、他国の産業の特徴などを学習する際に、興味を持ったテーマについて自ら考察を深めるような学習を心がけてください。さらに、日本の地名や都道府県名などは、正しく漢字で解答できるように学習してください。

【歴史分野】

歴史的な語句や年号を答える勉強に特化して暗記に頼ることなく、時代背景をしっかりと学ぶことが重要です。正誤文章の中には別時代の内容の文章が含まれていることも多いので、時代ごとの全体像を把握するような学習をしておいてください。

【歴史分野】

世界の歴史についての基本的な学習が必要である。中国や日本の歴史だけでなく、欧米の歴史もできごとが起こった時期は、何世紀か程度は知っておくようにしてください。近現代史もしっかりやっておくようにしてください。

【公民分野】

本校では必ず時事問題を出している。ふだんから社会の様子、世界の出来事に興味を持って、いろいろな出来事を整理しておいてほしい。政治分野では、憲法、政治（選挙）のしくみなど、理解しておいてください。

【全般】

問われている内容が多岐にわたります。時間内で解答できることが重要です。自信のある分野の問題から手を付けることで、余裕を持って問題の解答ができると思います。語句や年号を暗記するだけではなく、関連する内容を理解するように努めてください。また、歴史・地理・公民の用語や人名・地名などは漢字で書けるよう学習してください。

◆ 後期特訓の内容 ◆

入試問題の演習をおこなっていきます。地理分野は年度によって出題される単元が違うので、もれないように幅広くおさえていく必要があります。本科授業を大切にしてください。歴史分野は同じような内容が出題されることが多いので、過去問の復習がとくに有効です。公民（政治）分野はやや難しい用語も出題されます。言葉の意味を理解していくことをめざして入試問題に取り組みます。時事問題が必ず出題されますので、日頃からニュース等に関心を持つようにしましょう。